

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
分担研究報告書

片頭痛症例における頭部自律神経症状と
中枢神経感作の関係性に関する研究

当院研究責任者 竹島多賀夫 富永病院 副院長・神経内科部長

研究要旨 富永病院頭痛センターに通院中の片頭痛症例200例に対して、CSI問診票を用いた中枢感作の程度を調査を行い、頭部自律神経症状のある群とない群で中枢感作の程度に差があるかどうかを検討する。

当院研究分担者

團野大介、菊井祥二、宮原淳一

E. 健康危険情報
特記なし

G. 研究発表
1. 論文発表

2. 学会発表

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

2. 実用新案登録

3. その他

A. 研究目的

片頭痛症例について頭部自律神経症状を有する症例が有さない症例と比較して中枢感作が進行していることを明らかにする。

B. 研究方法

本研究に同意が得られた20歳以上80歳未満の片頭痛を有する患者に対してCSI問診票を用いて中枢感作の評価を行う。

(倫理面への配慮)

2018年5月 富永病院倫理審査承認

C. 研究結果

頭部自律神経を有する群と、有さない群ではCSIスコアがそれぞれ39.9/29.8で自律神経症状を有する群で有意に高かった。

D. 考察

頭部自律神経症状を有する片頭痛症例は、有さない群と比較して中枢感作が進行している。